

第9回世界農村社会学大会案内

IRSA大会プログラム委員 河村能夫

既報の通り、国際農村社会学会（IRSA）の第9回世界農村社会学世界会議が、今夏にルーマニアの首都ブカレスト（ブカレスト大学）で、共通テーマ「Rural Potentials for a Global Tomorrow」の下に開催されます。「参加申し込み」「論文要旨提出」の期限は過ぎていますので、未了の方は至急手続きをお願いいたします。また、会議で発表を予定されている方は、Prof. Farmer (Univ. of Arkansas) に送付された Abstract のコピーを河村宛に送付願います。

- 1 会議参加申込期限 = 1995年10月31日
- 2 論文要旨提出締切日 = 1996年3月1日
- 3 宿泊申込締切日 = 1996年5月15日
- 4 会議参加費支払期限 = 1996年5月15日
- 5 会議日程 = 1996年7月22-26日（25日：エクスカーション）

現在の会議参加予定者は30名、そのうち発表予定者は22名です。なお、会議では日本のテーマ・セッションを設定いたします。前回の会議と同様のスケジュールの場合、1セル105分です。現在、日本セッションでの発表希望者は7名、日本セッションまたは自由セッションいずれも可能の発表希望者が7名います。これらすべての人々を入れるとすれば、日本のテーマ・セッションには3セル必要かと思います（1セル4-5名発表）。これらの日本セッションの全体のトピックは「The Crisis of Family Farms and the Feasibility of Sustainable Rural Development with Globalized Economy: Japan's Experiences」とし、それぞれのセッションのサブトピックは、発表者のトピック内容から、"Changing Family and Family Farms in Rural Japan" "Rural Policy and Part-time Farming in Japan" "Community Changes and Rural Revitalization in Globalized Japanese Economy" とつけました。ご意見などを河村までお送りください。河村のFAX番号は(075) 643-8510龍谷大学・研究サービスセンターです。